

平成30年度教育研究活動報告書			
氏名	信木 伸一	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（教育学）広島大学	職位	教授
専門分野	国語教育学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	国語教育学専門演習a、国語教育学専門演習b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）、国語科教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ、教育原理、教育の方法と技術、教職実践演習、教育臨床実習
大学院	国語教育学特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）近代言語文化教育史	
（2）「古典教育」論	
（3）読みの学習理論	
本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28（件数は追加可）	
H30 〈学会発表〉新保磐次『中學國文讀本』（明二八）における「普通文」（全国大学国語教育学会『国語科教育研究第135回東京ウォーターフロント大会研究発表要旨集』2018.10）単著 〈論文〉新保磐次『中學國文讀本』における「普通文」—教材「藤樹先生」の典拠からの文体的変容—（『国語教育研究 第六〇号』広島大学国語教育会 2019.3）単著 〈著書〉翻刻『本朝文範』（学長裁量教育研究費 はと印刷 2019.3）単著	
H29 〈著書〉『明治初期和文教科書の生成—『本朝文範』における「普通文」への歩み—』（溪水社 2017.12）	
H28 〈論文〉明治初期教科書『本朝文範』における「普通文」への歩み — “旨趣の標”の近世古典注釈からの継承と近代教科書としての加工 —（『日本教科教育学会誌 第39巻2号』日本教科教育学会 2016.9）単著 査読付き 〈論文〉明治初期和文教科書の生成—『本朝文範』を中心に—（博士学位論文、2016.9広島大学）単著 査読付き	
H27以前の主な研究業績（件数は追加可）	
（1）〈論文〉明治教科書『本朝文範』の生成 — 近世からの脈略と明治教科書としての創出 —（『国語科教育 第七十八集』全国大学国語教育学会 2015.9）単著 査読付き	
（2）〈論文〉明治教科書『本朝文範』の文類（『国語教育研究 第五十六号』広島大学国語教育会 2015.3）単著	
（3）〈論文〉古典学習における主題単元のテーマの設定 — 「学習者にとっての問題調査」から—（『教育学研究紀要 第60巻』中国四国教育学会 2015.3）共著	
（4）〈研究報告書〉2012～2014年度科学研究費補助金基盤研究（C） 小・中・高一貫の「伝統的な言語文化」の教育カリキュラムに基づく授業創造に関する研究（渡邊春美、信木伸一、武久康高、富安慎吾 2015.3）共著	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H28・H29・H30	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
全国大学国語教育学会、日本文学協会、日本教科教育学会、広島大学国語教育会（理事）、尾道大学日本文学会（会長）	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）（件数は追加可）	
公開講座	尾道文学談話会 1回
	委員会等の名称
（1）尾道市関係	尾道市教科用図書選定委員会 尾道市立栗原中学校学校関係者評価委員会 尾道市個人情報保護審議会 尾道市情報公開審議会